

トマト、パプリカ、メロンの産地育成 (島根県飯南町地域農業再生協議会)

取組の背景

- 今後、主食用米の需要が減少していく中、水稻から需要のある高収益作物への転換を図る必要がある。
- トマト、メロン、パプリカを、飯南町農業振興計画において地域の振興作物として選定し、担い手確保(新規就農、経営多角化)を図るとともに、平成26年度からビジョンに位置づけ。



取組概要

- 町の農業振興に向けて、関係機関(島根県、町、JA、生産団体)で飯南町農林振興協議会を組織し「飯南町農業振興計画」を策定。地域の振興作物として、トマト、メロン、パプリカを選定。
- 平成26年より、産地交付金で10千円/10aの支援を実施(以降継続)し、生産者の経営安定を図るとともに、各種制度を用いて、担い手確保及び生産拡大の取組を実施。

【 具体的な取組内容 】

- ・ 飯南町の定住研修制度を利用した新規就農支援、後継者育成支援による施設整備、集落営農組織への経営多角化支援。
- ・ 園芸用ハウス整備支援事業によるハウスの新設、修繕を実施し、新規生産又は継続生産を支援。
- ・ リースハウス団地整備事業により、生産者のハウス新設の初期投資負担を軽減し、新規就農や経営多角化を支援。
- ・ 共同選果場整備による生産者の労力軽減と品質向上をはかり、市場評価を高め、産地化を推進。



〔新設され営農開始を待つリースハウス〕



〔共同選果場整備により生産者の労力軽減と品質向上〕

成果・将来の展望

- 作付面積は3品目合計で13.8%増。
- 3品目合計で、販売量、販売金額ともに増加し、販売金額は26.6%増。特にトマトとパプリカの販売額はそれぞれ、2.2倍と1.6倍に増加。
- 野菜類の共同選果場を整備。平成29年7月から稼働を開始し生産者の労力を軽減するとともに、出荷における品質が向上。
- 引き続き、担い手の確保及び生産拡大を進め、地域の特産地化を図り、集落営農や農業生産法人の経営多角化とともに、生産者の農業経営の安定化を進める。



区分 \ 年	25年度	26年度	27年度	28年度	H28/H25
トマト					
作付面積 (a)	85	85	71	126	148.2%
販売量 (t)	27.8	33.1	34.8	54.4	195.7%
販売金額 (千円)	8,657	8,479	10,166	19,088	220.5%
メロン					
作付面積 (a)	271	256	219	260	95.9%
販売量 (t)	46.9	39.2	38.7	37.5	80.0%
販売金額 (千円)	28,906	25,237	25,916	26,314	91.0%
パプリカ					
作付面積 (a)	43	60	58	68	158.1%
販売量 (t)	9.6	12.3	12.9	15.2	158.3%
販売金額 (千円)	6,159	8,094	8,460	9,954	161.6%
合計					
作付面積 (a)	399	401	348	454	113.8%
販売量 (t)	84.3	84.6	86.4	107.1	127.0%
販売金額 (千円)	43,722	41,810	44,542	55,356	126.6%